

こどもICT学級

プログラミングでドローンを飛ばそう

- ▷対象/小学3～5年生
- ▷とき/3月14日(日) 午後1時30分～4時30分
- ▷ところ/情報工房5階シンクホール
- ▷内容/ドローン「Tello(テロー)」=写真=を使ったプログラミングの体験講座を行い、ドローンの仕組みや活用方法を学ぶ ※貸出用の教材は1人で1台を使用
- ▷定員/10人(抽選)
- ▷参加料/500円
- ▷申込/2月25日の午後3時までに、情報工房(☎75-7000)へ ※市HPから申込可
- ▷抽選/2月26日の午前10時



補助金活用セミナー

- ・とき/3月5日(金) 午後2時～3時
- ・内容/経済産業省中部経済産業局の職員から、中小企業や小規模事業者が販路開拓、生産性向上などを行う場合に活用できる補助金や申請のポイントを学ぶ
- ・定員/50人(先着順)
- ・申込/大垣商工会議所などで配布の申込書に必要事項を記入し、同会議所(☎78-9112)へ ※右のQRコードから申込可
- ・問合せ/同会議所(☎78-9111)へ



申込ページ

救急講習会を開催します!

市教育委員会は、地域で青少年育成やボランティア、レクリエーション活動などを行っている皆さんが、安心して事業を運営できるよう、救急講習会を開催します。

- ◎対象/市内在住の中学生以上の人
- ◎とき/3月20日(土・祝) 午前10時～正午
- ◎内容/応急手当の基礎や心肺蘇生法などを学ぶ ※普通救命講習修了証は交付されません
- ◎定員/20人(先着順)
- ◎申込/3月13日までに、青年の家で配布の申込書に必要事項を記入し、同施設(☎・☎78-9308)へ



救急講習会の様子

自分の思いを俳句で表現

俳句と遊ぶワークショップ



子どもたちに俳句への興味と俳句文化への理解を深めてもらうため、「俳句と遊ぶワークショップ」が1月30日、奥の細道むすびの地記念館で開催されました。

参加者は、市内の風景などをタブレットで見ながら俳句を詠む「バーチャル吟行」に挑戦。五・七・五のリズムに乗せて自分の思いを俳句で表現しました。その後、お気に入りの俳句を書き、絵や折り紙などで装飾したオリジナルキャンドルも制作しました。最後に、完成した俳句のキャンドルを一人ずつ披露して、交流を深めました。

市民伝言板

このコーナーには、市民団体などの催し・講座・募集を掲載しています。

かすみの会 音楽の玉手箱

- ＊とき/2月26日(金) 午後7時～8時
- ＊ところ/OKBふれあい会館・サラマンカホール(岐阜市藪田南)
- ＊内容/ピアノと歌と弦楽器のアンサンブルによるコンサート
- ＊曲目/ブルグミュラー25の練習曲(ピアノ四重奏版)、シューベルト(アヴェ・マリア)など
- ＊定員/150人(先着順) ※満4歳から入場可



- *申込/2月22日までに、かすみの会の伊藤さん(☎090-3484-4754)へ

旧清水家deアート展

- ＊とき/3月6～28日の土・日・祝日 いずれも午前9時～午後5時 ※初日と最終日は時間変更あり
- ＊ところ/旧清水家住宅
- ＊内容/赤坂ゆかりの作品を展示
- ＊問合せ/フリーサロン福和里の早崎さん(☎090-1290-6721)へ



障がい者サポーターとして活動してみませんか

市は、市民一人ひとりが多様な障がいについて理解を深め、だれもが安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「障がい者サポーター制度」を実施しています。詳しくは、障がい福祉課(☎47-7298)へ。

障がい者サポーター制度とは

この制度は、障がいの特性や配慮を理解し、必要な手助けを実践する人を「障がい者サポーター」として認定します。サポーターには、シンボルマークがデザインされたグッズが交付され、それを身に付けることで、障がいのある人は困ったときに声をかけやすくなります。

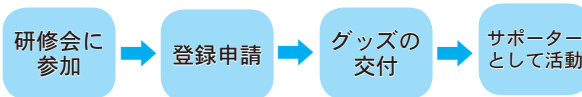
令和3年1月末現在で、583人の市民の皆さんにサポーターになっていただいています。



障がい者サポーター制度シンボルマーク

障がい者サポーターになるには

サポーターになるには、専門的な知識は不要ですが、市が実施する1時間程度の研修会への参加が必要です。その後、登録申請を行うことで、サポーターとして認定されます。



障がい者サポーター研修会

- ＊とき/3月12日(金) 午前10時～11時
- ＊ところ/市役所8階大会議室
- ＊内容/ハンドブックやDVDを使って、障がい者の特性や必要な配慮を学ぶ
- ＊定員/20人(先着順)
- ＊申込/障がい福祉課(☎47-7298)へ